

[インデックスに戻る](#)

1. 方程式と不等式

1-3. 方程式と不等式

1-3-1. 1次方程式と1次不等式

1-3-1-4. 1次不等式の解法

x についての条件を不等式で表したものを、 x についての不等式といい、不等式を成り立たせる x の値を、その不等式の解という。

例

$3 \cdot 1 + 5 > 2$ であるから、 $x = 1$ は不等式 $3x + 5 > 2$ の解である。

不等式のすべての解を求めることを、その不等式を解くという。不等式の解は無数にあることが多いので、解を列挙することはできない。この場合、**解は不等式で表す**。

移項して $ax + b > 0$ 、 $ax + b < 0$ 、 $ax + b \geq 0$ 、 $ax + b \leq 0$ ($a \neq 0$) の形に整理できる不等式を x についての **1次不等式** という。1次不等式は不等式の性質を使って解くことができる。不等式の性質は、等式の性質と似ていたため、**1次不等式の解法は1次方程式の解法と似ている**。ただし、負の数を両辺に掛けたり割ったりするときには注意が必要である。

例 $-5x + 3 > -2$

$$-5x + 3 > -2$$

3 を移項する。

$$-5x > -2 - 3$$

$$-5x > -5$$

両辺を -5 で割る。**不等号の向きが変わる**ことに注意。

$$\frac{-5x}{-5} < \frac{-5}{-5}$$

$$x < 1$$

[インデックスに戻る](#)